
290 ユーザーマニュアル

2026 年 06 月 22 日

目次

1 システム設定	3
1.1 工場出荷時設定にリセット	3
1.2 サウンド設定	3
2 デバイスの機能設定	3
2.1 照明設定	4
3 トリガー設定	5
3.1 読み取りモードの設定	5
3.2 連続読み取りモード	6
3.3 連続読み取りモードでのデコードタイムアウト設定	6
3.4 連続読み取りモードでの同一コード遅延設定	7
3.5 オートセンシングモードでの感度設定	8
4 通信インターフェースの設定	9
4.1 通信インターフェースモード	9
4.2 シリアルポートのボーレート設定	10
5 キーボード設定	10
5.1 USB 送信遅延設定	11
6 データ編集	11
6.1 ターミネーターの設定	12
7 コード設定	12
7.1 ユニバーサルコードスイッチ	12
7.2 一次元コードスイッチ	13
7.3 QR コードスイッチ	16



設定開始

1 システム設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

1.1 工場出荷時設定にリセット



工場出荷時設定にリセット

1.2 サウンド設定



ビープ音を有効にする



ビープ音を無効にする

2 デバイスの機能設定





設定開始

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

2.1 照明設定

内蔵補助光設定



内蔵補助光を有効にする



内蔵補助光を無効にする

フィルライトの明るさ設定



フィルライトの低輝度



補助光の中程度の明るさ



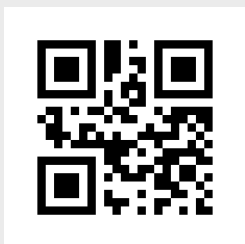
高輝度フィルライト





設定開始

外部補助光の設定



外部フィルライトを有効にする



外部フィルライトを無効にする

照準ライトの設定



照準ライトを有効にする



照準ライトを無効にする

3 トリガー設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

3.1 読み取りモードの設定



ボタントリガー



オートセンシングモード





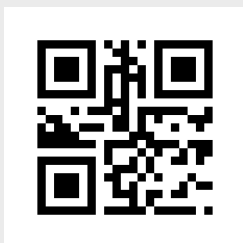
設定開始

3.2 連続読み取りモード



連続読み取りモード

3.3 連続読み取りモードでのデコードタイムアウト設定



デコードタイムアウト 0 ミリ秒



デコードタイムアウト 1500ms



デコードタイムアウト 3000ms



デコードタイムアウト 5000ms



デコードタイムアウト MAX





設定開始

3.4 連続読み取りモードでの同一コード遅延設定



同一コード遅延 0ms



同一コード遅延 1500ms



同一コード遅延 3000ms



同一コード遅延 5000ms



同一コード遅延 MAX





設定開始

3.5 オートセンシングモードでの感度設定



感度を 30 に設定



感度を 25 に設定



感度を 20 に設定



感度を 15 に設定



感度を 10 に設定



感度を 8 に設定



感度を 5 に設定



感度を 3 に設定



感度を 1 に設定





設定開始

4 通信インターフェースの設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

4.1 通信インターフェースモード



USB インターフェイス



USB 仮想串口



シリアルポート





設定開始

4.2 シリアルポートのボーレート設定



ボーレート 4800



ボーレート 9600



ボーレート 19200



ボーレート 38400



ボーレート 57600



ボーレート 115200

5 キーボード設定





設定開始

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

5.1 USB 送信遅延設定



HID 5 ms



HID 10 ms



HID 50 ms



HID 100 ms

6 データ編集





設定開始

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

6.1 ターミネーターの設定



CR ターミネータを追加



CRLF ターミネータを追加



Tab ターミネータを追加



キャンセルターミネーター



LF ターミネータを追加

7 コード設定

重要

このページでパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンし、次にターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

7.1 ユニバーサルコードスイッチ





設定開始

重要

このグループのパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンしてから、ターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

すべての 1D コード



すべての QR コードを有効にする



すべての 1D コードを無効にする

すべての QR コード



すべての QR コードを有効にする



すべての QR コードを無効にする

7.2 一次元コードスイッチ





設定開始

重要

このグループのパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンしてから、ターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

Code 128 コード



Code 128 コードを有効にする



Code 128 コードを無効にする

EAN-8 コード



EAN-8 コードを有効にする



EAN-8 コードを無効にする

EAN-13 コード



EAN-13 コードを有効にする



EAN-13 コードを無効にする





設定開始

UPC-A コード



UPC-A コードを有効にする



UPC-A コードを無効にする

UPC-E コード



UPC-E コードを有効にする



UPC-E コードを無効にする

Code 39 コード



Code 39 コードを有効にする



Code 39 コードを無効にする





設定開始

コードバーコード



Codabar コードを有効にする



Codabar コードを無効にする

コード 93 コード



コード 93 を有効にする



コード 93 を無効にする

ITF25 コード



ITF25 コードを有効にする



ITF25 コードを無効にする

7.3 QR コードスイッチ





設定開始

重要

このグループのパラメータを変更する場合は、最初に「設定の開始」をスキャンしてから、ターゲット設定コードをスキャンします。完了したら「設定終了」をスキャンしてください。

QR Code コード



QR Code コードを有効にする



QR Code コードを無効にする

Data Matrix (DM) コード



Data Matrix (DM) コードを有効にする



Data Matrix (DM) コードを無効にする

